

## 地对協コーナー

今号では、1月に開催された委員会の報告をお届けします。1月13日(木)に開催した医薬品の適正使用検討特別委員会では、「ポリファーマシー」の解決に向けた取り組みをしています。「ポリファーマシー」とは、服用する薬剤数が多いことに関連して薬物有害事象のリスク増加、服用過誤、服薬アドヒアランスの低下などの問題につながる状態を言い、近年、医療安全および医療経済の観点から問題視されています。委員会における取り組みの詳細は後ほどの報告をご確認いただければと思います。

皆さまのご要望やご意見などがございましたら、遠慮なく、事務局までお寄せください。また、過去の各委員会活動などは、地对協ホームページ (<https://citaikyo.jp/>) へ掲載していますので、アクセスをお待ちしております。

### ○第1回医薬品の適正使用検討特別委員会

日時：令和4年1月13日(木)19時00分

場所：Web会議

(広島県医師会館2階 201会議室)

委員長：松尾 裕彰

昨年度事業を検証し、今年度の事業計画について協議した。今年度は引き続きポリファーマシーの問題に着目し、居宅介護支援事業所や訪問看護ステーションにおいてツール（おくすり相談シート）の活用体制を構築していく。次年度は、ツールの周知方法について検討する予定。

### 報告事項

#### 令和2年度事業報告について

令和2年度は、これまでの事業結果、調査結果から、薬局による訪問が行われていない居宅サービス受給者のうち、特に居宅介護支援事業所においてツールの活用が期待できると考え、「在宅医療に参画している薬局」が「在宅医療に参画していない薬局」を上回っている東広島地域においてツールの試行をした。ツールの活用にあたっては、東広島薬剤師会と広島県介護支援専門員協会東広島ブロックとの協議により、ツール内の記入事項を地域の実情にあった内容へ改定している。この取り組みは、令和3年3月から実施し、開始して1ヵ月程度経過した際に活用事例が2件確認されている。そのうち1件は、居宅介護支援事業所ではなく、訪問看護ステーションでの活用事例であるが、結果的に、薬局から医療機関への連絡により在宅医療サービスが開始されたとのことである。

この東広島地域での試行に関して、委員からは、居宅介護支援事業所から薬局への一方通行ではなく、薬剤師からその後の状態を確認する

など双方向でのやりとりが望ましいのではないかと、薬剤師とケアマネジャーは、お互いの顔を知らないことが多いため、ケアマネジャーが行っているカンファレンスに薬剤師にも声をかけてみる、薬剤師からも何か気づきがあった際には誰がケアマネジャーを務めているのか確認するなど、お互いが努力して連携することが必要であるなどの意見があった。

### 協議事項

#### (1) 令和3年度事業の概要及び令和4年度事業の方針について

令和3年度の取り組み状況について説明があり、令和3年11月に開催された広島県介護支援専門員協会東広島ブロック主催の研修会において、ツールの活用や活用後の情報提供への協力を依頼したことが報告された。その際に、訪問看護ステーションでもツールを活用できるようにしてほしいとの要望があり、令和3年12月に訪問看護ステーションへツール活用の依頼を行ったとのことである。

また、ツール試行の活用状況については、開始当初の情報提供（上記の活用事例2件）以降は、報告が上がってきていないとのことで、薬局・介護職種ともにツールを広く周知し、使用することのメリットを共通認識として持つなど、「気軽に使える体制の見える化」を構築する必要があると述べた。令和4年度の取り組みについては、令和3年度の考察を踏まえ、薬局から介護職種への効果的な周知方法について調査検討を行いたいとしている。

#### (2) 講演会について

今年度の講演会は、令和4年3月16日(木)に完全オンラインにより開催する旨、報告があった。

特別講演の講師は、令和元年度に講演会が中止となった際、講師を務めていただく予定となっていた特定医療法人茜会 よしみず病院 薬剤部 薬剤部長 川崎美紀氏に依頼することとなった。

#### ○第1回糖尿病対策専門委員会

日 時：令和4年1月21日(金)19時00分

場 所：Web会議

(広島県医師会館3階 301会議室)

委員長：米田 真康

本県の糖尿病医療に係る医療連携体制について各地区の現状を確認後、各地区・各団体の糖尿病に関する取り組みについて意見交換を行った。また、「ひろしまDMステーション」および「糖尿病性腎症重症化予防事業」について情報提供があった。

#### 協議事項

##### (1) 令和4年度の「糖尿病診療拠点病院」「糖尿病診療中核病院」の指定

米田委員長より、糖尿病医療連携体制について、県内の糖尿病診療拠点病院は8医療機関、中核病院は9医療機関になっていると説明があった。また、現在指定されている拠点病院・中核病院に所属している委員に対し、広島県ホームページに掲載されている拠点病院・中核病院の医療機能を示した表について現時点で変更点がないか確認した。

#### 報告事項

##### (1) 令和3年度の糖尿病地域医療連携に関する取り組み

令和3年度の各地区における糖尿病連携に関する取り組みについて、委員からは、昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症の影響によって糖尿病教室や勉強会を開くことができなるとの意見が多く挙げられたが、地域での連携についてはうまくいっている、もしくは例年通りであるとの報告が多かった。

##### (2) 令和3年度の糖尿病医療に関する活動

各団体から今年度の糖尿病に関する活動や、今後予定している取り組みなどについて報告があった。

##### (3) 「ひろしまDMステーション」の遠隔による生活指導について

米田委員長より、令和元年8月から広島大学に設置されている「ひろしまDMステーション」の進捗状況について報告があった。令和2年4月から食事・運動のサポート等の遠隔医療を行っており、今後は人工知能による介入も進めていく予定とのこと。

##### (4) 糖尿病性腎症重症化予防事業について

広島県より、令和元年度の市町国保における糖尿病性腎症重症化予防の実績について、保健指導の実施に同意した人が390人、保健指導を終了した人が366人であった旨報告があった。また、検査データの収集については、eGFR区分のデータ収集率が低いことが課題となっていることから、令和2年9月に広島県糖尿病性腎症重症化予防プログラムを改定し、検査データの収集を保険者の実施する要綱として明記、検査結果報告書の様式を定めた旨報告があった。

#### ○第2回産科医療体制検討専門委員会

日 時：令和4年1月26日(水)19時00分

場 所：Web会議

(広島県医師会館2階 201会議室)

委員長：工藤 美樹

広島県の産科医療体制について、県内の分娩状況や出生数の推移のほか、「高度医療・人材供給拠点（仮称）」の整備に向けた検討状況について情報を共有するとともに、事前に委員に行った県内の産科医療体制に関するアンケート調査の結果を報告し、意見交換を行った。

#### 協議事項

##### 広島県の産科医療体制について

##### ・県内の分娩状況・出生数の推移について

令和元年度～令和2年度の圏域別・医療機関種別の分娩状況を比較すると、令和2年度は広島圏域、広島西圏域において、分娩取扱施設のうち診療所がそれぞれ1施設、分娩中止および閉院のため減少している。また県内全体の年間分娩件数は、病院・診療所ともに減少傾向にある。医師1人当たりの分娩取扱件数は、医療機関別で見ると全体的に有床診療所が多く、病院においては、圏域別で見ると令和2年度における医師1人当たりの分娩取扱件数が多い圏域は広島中央や尾三である一方で、少ない圏域は広島や呉と

なっている。

また常勤医師1人当たりの分娩取扱件数は、診療所で多く、地域によっては周産期母子医療センターの件数が少ない状況にある。そのほか、平成22年～令和元年までの各圏域における出生数の推移については、いずれの圏域においても減少傾向であり、平成22年と比較し0.7以下となるなど減り幅が大きい地域もあることを報告した。

#### ・「高度医療・人材供給拠点（仮称）」の整備に向けた検討状況について

広島県医療機能強化担当より、「高度医療・人材供給拠点（仮称）」（以下、拠点）の整備に向けた検討状況について説明があった。現在、本県の地域医療構想を推進するため、広島都市圏において、全国トップレベルの高度医療を提供する機能や人材を育成・供給する機能を持つ拠点の整備に向けて検討が進められている。拠点ビジョンの素案として、拠点に期待される役割としては、基幹病院として救急・小児・周産期・災害医療・感染症への対応などの医療需要に応えること、医療資源やさまざまな症例を集積することで、高度な医療を提供すること、地域において核となる拠点病院への医療人材の供給・循環の仕組みを構築することにより、中山間地域の医療を守ることなどが挙げられている。

検討中の拠点に求められる高度医療機能として、周産期については、総合周産期母子医療センターとして周産期医療を強化することとしており、婦人科腫瘍を大学病院へ集約し、新たな拠点は周産期医療を中心に実施していくとの意見があることなどを報告した。

#### ・産科医療体制に関するアンケート調査結果について

令和3年9月に委員へ実施した県内の産科医療体制に関するアンケート調査の結果を踏まえ、意見交換を行った。アンケートでは、専門性に関する課題等として、周産期専門医の不足、専門性の習得機会や習得時期、専門性以外の習得に関する課題が寄せられた。

また地域性に関する課題としては、各圏域でマンパワー不足、働き方改革への対応や指導医の不足、診療所の閉院等による分娩件数の増加等の課題が挙げられていた。

#### ○第1回発達障害医療支援体制検討特別委員会

日時：令和4年1月28日(金)19時00分

場所：Web会議

(広島県医師会館7階 702会議室)

委員長：松田 文雄

本県の発達障害者診療について現状報告と、診療実態アンケート調査の内容について報告があり、初診待機期間解消等の課題解決に向けた取り組みについても報告があった。

#### 協議事項

##### (1) 令和3年度発達障害の診療実態アンケート調査結果について

調査結果から発達障害の診療を行う医師数が令和元年度調査の195人から209人へ増加していた。全県における、初診待ち期間が6ヵ月を超える医師の割合は5.8%で広島中央、福山・府中、備北の圏域で増加していた。初診待機患者数は令和2年の1,742人から2,041人へ増加していた。待機期間が1ヵ月未満の予約患者の割合は減少している。初診待機者は福山市、広島市東区で大きく増加している。特別児童扶養手当の受給に係る診断書の取得を目的とした患者の増加や新型コロナウイルスの影響による受診の延期、予約枠の減少などが増加要因として紹介された。

##### (2) 広島県における発達障害児者の支援に係る取組状況について

本県における発達障害児者の支援に係る取り組みが紹介された。「地域支援体制の整備」「人材育成」「発達障害医療体制の整備」「家族支援体制の整備」以上の4つの区分で整理されている。「地域支援体制の整備」では、広島県発達障害者支援センターに発達障害に関する専門的な知識や経験を有する地域支援マネージャーを配置し特性・ニーズに応じた助言・指導等を実施している。「人材育成」では各種研修会の開催、国の行う研修への派遣を行っている。「発達障害医療体制の整備」として発達障害診療円滑化支援事業を福山・東広島・芸北で実施した。福山・東広島では初診待機者へ心理士がアセスメントおよび面接支援を行いその内容を初診時に医師へ提供することで早期からの支援につなげている。「家族支援体制の整備」では、保護者への「ペアレント・トレーニング」を実施するための体制整備や心のサポート体制についても整備が行われている。

(3) 発達障害児(者)診療医の養成に係る研修体系について

広島県では、発達障害児(者)診療医養成研修、発達障害の診療に係る陪席研修に加え、国立精神・神経医療研究センターが実施する発達障害に係る地域における指導的な医師の養成を図る研修に医師を派遣し、受講に係る交通費等を支援している。養成研修受講者は県が実施する発達障害児(者)診療医養成研修で研修内容の伝達を行う事となっている。

発達障害児(者)診療医養成研修では既に発達障害の診療を行っている医療従事者向けの内容から研修を初めて受講する医療従事者にとっ

ても有用な内容となるようカリキュラムを検討している。

(4) 発達障害児(者)支援に関する医療等相談事業について

平成30年度から実施している発達障害児(者)支援に関する医療等相談事業について、令和3年度は12月時点で13件の相談が寄せられている。医療支援についての質問や保護者の対応についての相談などさまざまな質問が寄せられている。相談窓口の活用件数は極めて少ない状況であり、活用促進に向け、利用手続きの簡素化、相談窓口の周知などの取り組み状況が説明された。

### 県地对協からの提供資料について

県地对協では以下の県内共通クリティカルパス、パンフレット、マニュアル等を作成しています。ご入り用の際は下記事務局までご連絡ください。

**【地域連携クリティカルパス】**

- 乳がん患者さんのための「わたしの手帳Ver.7」
- 肺がん術後患者用「わたしの手帳Ver.3」
- 心筋梗塞・心不全 手帳 地域連携パス
- 心筋梗塞・心不全手帳の使い方 ご本人・ご家族用
- 前立腺がん 手帳 地域連携パス
- 甲状腺がん 手帳 地域連携パス
- 大腸がん 手帳 地域連携パス
- 大腸がん内視鏡治療後患者用手帳
- 胃がん 手帳 地域連携パス
- 胃がん内視鏡治療後患者用手帳

**【パンフレット・マニュアル】**

- ACPの手引き 「豊かな人生とともに…」

**【事務局】 広島県医師会地域医療課 電話：082-568-1511 Eメール：citaikyo@hiroshima.med.or.jp**



乳がん患者さんのための「わたしの手帳Ver.7」



肺がん術後患者用「わたしの手帳Ver.3」



心筋梗塞・心不全手帳 地域連携パス



心筋梗塞・心不全手帳の使い方  
ご本人・ご家族用



前立腺がん手帳 地域連携パス



甲状腺がん手帳 地域連携パス



大腸がん手帳 地域連携パス



大腸がん内視鏡治療後患者用手帳



胃がん手帳 地域連携パス



胃がん内視鏡治療後患者用手帳



ACPの手引き  
豊かな人生とともに

など

※一部ホームページにて公開中 [広島県 地对協](#) [検索](#)